

市内の公園等に対する市民意向の把握方法（案）について

◆概要

今後行うパークマネジメント計画や公園区計画の検討に向け、市民や市民団体等のもつ、公園の機能や利活用、街路樹の役割等に関するニーズや意見の収集のため、市民向け、子ども・子育て層向け、団体向けのアンケートを実施する。

「市民向けアンケート」は 15 歳以上の市民（中学生は除く）を対象とする。「子ども・子育て層向けアンケート」は宝塚市の小・中学校に通う児童とその保護者を対象とする。「団体アンケート」は現在公園を利活用しているまたは今後利活用する可能性のある団体等を対象とする。

市民向け及び子ども・子育て層向けアンケートでは、お住まいの公園区（まちづくり協議会の範囲）についてもお尋ねし、市全体の観点のほか、公園区の観点からも、ニーズや意見の確認を行う。

《市民意見等の把握方法》

- 市民向けアンケート調査
- 子ども・子育て層向けアンケート調査
- 団体アンケート・ヒアリング等調査

1. 市民向けアンケート調査

(1)目的

- ・公園や街路樹の機能、あり方に関する市民ニーズや評価等を把握し、パークマネジメント計画や公園区計画、街路樹管理計画の検討等の参考とする。

(2)対象者

- ・宝塚市在住の 15 歳以上の市民（中学生は除く）を対象とする。

(3)実施方法

- ・郵送調査（郵送配布・郵送回収）とする。回答は、回収率向上のため、Web フォームで回答を行えるものとする（アンケート票に QR コードを記載）。
- ・配布規模は、回収目標 600 票（注）、配布総数 2,000 票。
- ・配布対象の抽出は、公園区計画の検討の参考とするため、全市に対する公園区別人口割合に対応した比例配布数（母数 2,000 票）を住基データから抽出する多段抽出法（確率比例抽出）により行う。
- ・公園区ごとの意見等を把握するため、配布総数について公園区人口に比例した枚数を各公

園区の居住者に配布する。(配布枚数が最も多くなるのが長尾地区の 339 票、最も少なくなるのが西谷地区の 21 票、中央値は 76 票である)

注：回収目標数について

信頼水準 95%以上、許容誤差 5%未満あれば統計的に信頼できると考えられている。上記の信頼水準、許容誤差とすると、必要サンプル数は 400~600 票となる。それを回収するために、有効回収率 30%とすると、配布数は約 1,300~2,000 票である。

(4)実施スケジュール(案)

調査票作成	~2024 年 1 月
第 1 回審議会開催	2024 年 2 月 28 日
配布開始	3 月中旬 (回答期間 3 週間程度)
回収	4 月上旬まで
集計・分析	4 月中旬・下旬

(5)確認事項(設問構成)

- ・目的を踏まえ、パークマネジメント計画や公園区計画等の検討として参考になる下記の項目について確認を行うことが考えられる。
- ・設問構成については、審議会における検討等を踏まえ設定する。
- ・調査票は別紙を参照。

●公園の利用状況

お住まい周辺の公園の利用頻度や用途について確認する。

【設問項目】

- ・お住まい周辺の公園の利用頻度・目的
- ・よく利用する公園
- ・公園を利用しない理由

●公園の整備・管理状況に対する評価

お住まい周辺の公園の整備・管理状況についての満足度など、公園の現状に対する評価について確認する。

【設問項目】

- ・お住まい周辺の公園の整備・管理状況に対する満足度
- ・お住まい周辺の公園の管理状況に関する評価

●今後の公園のあり方・公園づくりの進め方に関する意見

今後の公園に求める役割、公園間の機能分担や公園利用のローカルルールづくり、事業

者や団体等との連携による取組など今後の公園づくりの進め方に関する市民意見について確認する。

【主な設問項目】

- ・ 今後の公園に求める役割
- ・ 公園間の機能分担に関する考え方
- ・ 公園利用のローカルルール作りに対する考え方
- ・ 民間事業者や団体等との官民連携による取組に対する考え方

●狭小公園について

狭小公園（ベンチや小さなスプリング遊具しかないような小規模な公園）の利用頻度、管理状況・使い勝手に関する考え、今後の狭小公園のあり方等について確認する。

【主な設問項目】

- ・ 狭小公園の利用頻度
- ・ 狭小公園の管理状況・使い勝手に関する考え方
- ・ 狭小公園の今後の再編・再整備に関する考え方

●市民協働による公園管理の取組への参加状況や意向について

公園アドプト団体や緑化ボランティア等の市民協働による公園管理の取組に関する参加状況や参加意向等について確認する。

【主な設問項目】

- ・ 市民協働による公園管理への参加状況
- ・ 今後の参加意向
- ・ 参加できる場合に想定される参加頻度
- ・ 参加できる場合に想定される参加内容（清掃、除草、花壇管理、公園利用の見守り等）
- ・ 参加したくない理由

●街路樹の現状と今後のあり方について

居住地と街路樹の関係、街路樹の整備量に対する考え、街路樹に関する評価、今後の管理のあり方について確認する。

【設問項目】

- ・ 居住地と街路樹がある道路との位置関係（街路樹がある道路に面している 等）
- ・ 街路樹の量と質に対する所感
- ・ 街路樹について良いと感じる点

- ・街路樹について問題とを感じる点
- ・街路樹の今後の管理に関する考え方

●市民協働による街路樹管理への参加状況・意向

道路アドプト制度など市民協働の取組による街路樹管理についての参加状況や今後の参加意向について確認する。

【設問項目】

- ・市民協働による街路樹管理への参加状況
- ・今後の参加意向
- ・参加できる場合に想定される参加頻度
- ・参加できる場合に想定される参加内容（落ち葉清掃、除草、水やり等）
- ・参加したくない理由

●街路樹の今後のあり方にかかわる市民要望

街路樹の役割等に関する市民ニーズについて確認する。

【設問項目】

- ・街路樹管理への協力意向

参考)計画項目との対応関係

市民アンケートで把握する項目と、パークマネジメント計画の構成項目、先に実施されたみどりの基本計画の市民意識調査との対応関係は次のように整理できる。

※みどりの基本計画における市民意向調査は平成 30 年度に実施

市民意見を反映させる項目		市民アンケートで把握したい項目	みどりの基本計画における市民意識調査(※)ですでに把握している項目
パークマネジメント計画(骨子案)	2. 現状と課題 5. 実施計画 (2) 公園区計画の策定	・お住まい周辺の公園の利用状況(利用頻度、よく利用する公園、利用形態、利用目的) ・お住まい周辺の公園に求める機能(使い方、充実してほしい施設(ハード)、あったらいい取り組み(ソフト))	・緑の量(市全体、住まいの周辺) ・多いと感じるみどりと少ないと感じるみどりの種類 ・ここ 10 年での緑の増減について(市全体、住まい周辺) ・緑の満足度(市全体、住まい周辺) ・期待する市内の緑の役割 ・緑豊かなまちに向けて重視すること ・市内の公園の利用状況 ・市内の公園で普段行っていること、今後行いたいこと ・お住まい周辺の公園への不満 ・市内の公園数の充足状況 ・市内に必要な公園のイメージ
	4. 施策方針(1) 公園等の再編 ①お住まい周辺の公園の配置、機能の適正化 5. 実施計画 (1) 公園等の再編 (2) 公園区計画の策定	・機能設定等の特色ある公園づくりに対する意向(公園等の機能分担について)	・小公園に対する考え方 ・小公園の統廃合についてとその理由
	4. 施策方針(3) 市民協働による公園づくり・運営の推進 ①市民と事業者の意識の醸成 ②公園区計画の策定とその実践	・公園区単位の検討に対する意向(公園区計画の作成について) ・公園区単位の検討への参画意向 ・公園利用のローカルルール策定に対する意向(地域の公園ローカルルールについて)	・現在行っている、今後行いたい緑との関わりについて ・緑と関わるうえで希望する市からの支援
街路樹管理計画		・街路樹について(市内の街路樹について良いと感じるところ、問題だと感じる場所、維持管理についての満足度) ・街路樹のあり方について(路線ごとの地域特性に対応した管理について、維持管理への参加意向) ・街路樹管理の方向性について(剪定方法等)	・多いと感じるみどりと少ないと感じるみどりの種類 ・期待する市内の緑の役割 ・緑豊かなまちに向けて重視すること

2. 子ども・子育て層向けアンケート調査

(1)目的

- ・公園の機能のうち、子育て支援や子どもの成長に役立つ機能、具体的な施設内容等に関する子どもや子育て層市民のニーズや評価等を把握し、パークマネジメント計画や公園区計画の検討等の参考とする。

(2)対象者

- ・市内保育所（園）に通う1歳児、4歳児クラスの保護者
- ・宝塚市立小学校に通う2年生、5年生の児童とその保護者
- ・宝塚市立中学校に通う2年生とその保護者

(3)実施方法

- ・小・中学生を対象とした調査は、小中学校を通じ、QRコードを記載したアンケート依頼用紙を配布してもらい、ウェブフォームで回答してもらうものとする。
- ・保護者を対象とした調査は、上記の依頼用紙を持ち帰ってもらい、ウェブフォームで回答してもらうものとする。

(4)実施スケジュール(案)

調査票作成	～2024年1月
第1回審議会開催	2024年2月28日
配布開始	3月中旬（回答期間3週間程度）
回収	4月上旬まで
集計・分析	4月中旬・下旬

(5)確認事項(設問構成)

- ・目的を踏まえ、公園区計画等の具体的な内容の参考になる下記の項目について確認を行うことが考えられる。
- ・調査票は別紙を参照。

【宝塚市立小・中学校に通う児童・生徒向け】

●お住まい周辺の公園の利用状況

お住まい周辺の公園（自宅や学校から歩いて行ける公園）の利用頻度や目的、最もよく利用する公園について確認する。

【設問項目】

- ・お住まい周辺の公園の利用頻度・目的
- ・一緒に行く人

- ・最もよく利用する公園（調査票に添付する地図を参照し、該当公園を回答）
- ・公園を利用しない理由

●公園に関する問題認識・要望

公園を利用する際に気になったこと（問題認識）、望ましい公園像や施設について確認する。

【設問項目】

- ・公園利用時に気になったこと（暗い、汚い、怖い、危ない、利用ルールが厳しい等）
- ・望ましい公園像（ゆっくりできる公園、楽しい遊具がある公園、広い広場ある公園 等）
- ・望ましい施設（滑り台、ぶらんこ、アスレチック、広場やグラウンド 等）
- ・その他望ましい公園のイメージ（自由回答）

【宝塚市立小・中学校に通う保護者向け】

●お住まい周辺の公園の利用状況

お住まい周辺の公園（お住まい周辺の公園）の利用頻度や目的、最もよく利用する公園について確認する。

【設問項目】

- ・お住まい周辺の公園の利用頻度・目的
- ・最もよく利用する公園
- ・公園を利用しない理由

●お子さんの公園利用について

お子さんの公園利用に関する問題意識、望ましい公園像や施設、公園利用のローカルルールについて確認する。

【設問項目】

- ・お子さんが利用する公園で気になったこと（暗い、汚い、怖い、危ない、利用ルールが厳しい 等）
- ・望ましい公園像（子ども向けと同様な選択肢に加え、保護者要望を想定した選択肢（利用ルールが緩和された公園等）を追加）
- ・お子さんと公園を利用する際望ましい施設（子ども向けと同様な選択肢に加え、保護者要望を想定した選択肢（見守りができる休憩所、手洗い場・水飲み場等）を追加）
- ・公園利用のローカルルールについての考え方

3. 団体アンケート・ヒアリング等調査

(1)目的

- ・公園利活用の担い手となることが期待される公園アドプト団体、子育て団体、市民団体、事業者等の地域・市民団体を対象に、これまでの利活用の状況や今後の利活用の意向や要望、提案等を確認し、公園等の整備・管理運営方針等の検討の参考にする。

(2)対象者

- ・個別の市民団体、事業者等のほか、それら団体等を所管する庁内部署、社会福祉協議会等の外部機関とする。
- ・市民団体等には、これまで公園等を利活用してきた団体等や今後利活用する可能性のある団体等とする。（※具体的な対象については団体等を所管する庁内部署、外部機関にヒアリングを実施）

対象イメージ：公園アドプト団体、公園ボランティア、コミュニティ末広子育て支援部、宝塚すくすくアカデミー、宝塚ボランティアプラザ zukavo（宝塚市社会福祉協議会、保育園、高齢者施設）等

(3)実施方法

- ・市民団体等を所管する庁内部署を対象に市民団体等の公園等の活用状況や意向について照会。
- ・庁内照会を踏まえ、公園を活用しているまたは活用する可能性がある市民団体等については、調査票によるアンケートを実施。

(4)実施スケジュール(案)

調査票作成	～2024 年 1 月
庁内照会	～2024 年 2 月 2 日
第 1 回審議会開催	2024 年 2 月 28 日
調書の配布開始	3 月中旬（回答期間 3 週間程度）
回収	4 月上旬まで
集計・分析	4 月中旬・下旬

(5)確認事項(設問構成)

- ・調査票は別紙を参照。

①市民団体等による公園の利活用状況に関する照会（庁内部署向け）

各部署等に関りがある市民団体等について、公園等利活用の状況や今後利活用をする可能性や意向の有無等について、調書を配布し確認する。回答内容によっては、別途ヒアリング等を行う可能性がある。

【確認事項】

現在公園を利活用している、または条件によっては利活用する可能性がある、または今後、利活用する見込み・意向がある団体

- ・団体名（制度名）
- ・団体名称
- ・どのような団体か
- ・団体が集まる会議があるか
- ・会議開催予定日
- ・その他備考など

②市民団体、事業者等を対象にしたアンケート調査

市民団体や事業者等による、これまでの公園の利活用の状況や今後の利活用に関する意向・アイデアについて確認する。

【確認事項】

- ・各団体等の名称、構成人数、活動内容など基礎的な情報
- ・各団体等によるこれまでの公園等の利活用状況・内容（イベント開催、清掃等）
- ・各団体等がもつ今後の公園等の利活用の意向や計画、イメージ
- ・公園を利活用するうえで改善してほしいこと（ハード、ソフト）